

# 育てよう、みんなの力で上2の町

## 日上2住民避難マニュアル



日吉津上2自治会  
見守りコミュニティ推進委員会  
自主防災委員会

## は じ め に

近年、各地で大災害が頻発しています。平成12年には、この鳥取県西部においても地震が発生しました。幸いにも私たち上2区においては、怪我などをされる人もなく、被害は比較的少なかったのですが、みんなに地震など災害の恐ろしさ、日頃の備えの大切さを痛感させました。

さて、20～30年前、この地域に移り住んだ方の多い、私たち上2自治会も少子高齢化が進み、日常生活において、互いに見守り、助け合うことが重要になっています。ましてや、万一の災害時には、隣近所で声を掛け合い、いのちを支えあうような対応が求められます。元気な時には多少わずらわしく感じる方もあろうかと思いますが、それでも日頃から、顔見知りの関係をつくり、地域の連帯感を培っておく必要があります。

そこで、私たちは、平成16年から、「日吉津上2見守りコミュニティ推進委員会」を設置し、様々なテーマ毎に委員会を設けて取り組んできました。またそのなかに、各班から2名程度選出いただいた壮年男性による「自主防災委員会」を設置し、地区内の火災時や防災体制において大きな役割を担っていただいています。

そのようななか、一昨年春より、役場からの提案を受けて、「上2自主避難マニュアル」の作成に取り組みました。

災害時には、役場をはじめ行政機関がその対応に取り組むことは当然ですが、発生直後には、一人ひとり、隣近所、そして自治会やコミュニティなどで、自ら早急な対応が求められます。このマニュアルは、災害発生直後から、概ね2、3日程度の自主的な対応について、地区住民が戸惑うことなく、被害を最小限度に収めながら助け合あうことを目指して、見守りコミュニティ推進委員会のメンバーを中心に検討してきたものです。この間、役場の担当者や、アドバイザーとしてお越しいただいた延藤安弘先生、名畑恵さん、さらには地区内の事業所など、多くの皆さんからご理解やご協力をいただき、他にはないマニュアルの作成にこぎつけることができました。

まだ不十分な点が多々あろうかと思いますが、それを補い災害時に活かしていくのは、私たち一人ひとりの心構えだろうと感じています。上2のすべての皆さん、また各ご家庭で、このマニュアルをお読みいただき、話し合い、日頃の準備に努めながら、あらためて、上2での自治会や地域コミュニティ活動に積極的に参加いただきますよう、お願い申し上げます。

平成20年1月

日吉津上2自治会 会 長

湯原喜好

見守りコミュニティ推進委員会代表

小川 弘

自主防災委員長

建部智功

## <目 次>

### 地震編

非常時の対応手順シート	1、 2
地震直後の心得 10カ条	3
避難の心得 10カ条	4
ライフラインの確保（電気・水道・ガス）	5、 6
日上2 災害対策本部組織図	7
各担当の役割・準備品	8
日吉津村避難場所一覧	9、 10
協力事業所マップ	11
資機材一覧	12
日上2 防災倉庫備品一覧	13
日上2 防災マップ	14

### 風水害編

台風のお話	15
台風対策1 「風がつよいとき」	16
台風対策2 「風水害の備え」	16
集中豪雨のお話	17
集中豪雨対策1 「大雨のとき」	18
避難に関する情報を正しく理解しましょう	19
災害要援護者を災害から守りましょう	19

### 国民保護編

警報が発令されたら	20
避難のしくみ	21
避難の指示がだされたら	21

### 平素の対応

家庭でできる平素の対策	22
非常持出品、備蓄品を準備しましょう	23
住民避難マニュアルの作成経過	24

### 様式集

日上2 自治会安全確認シート	
災害人材台帳	
避難者名簿	
策定委員名簿	

# 非常時の対応手順シート

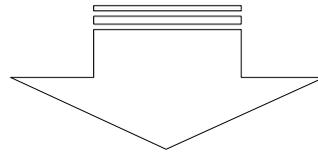
( にチェックを)

- \* 地震発生直後からの対応手順を申し合わせたものです。
- \* 日上2自治会として、災害直後から概ね2～3日の避難・救助等を想定して、作成しています。
- \* 災害の状況によって、手順は変わる場合があります。

## 地震発生（直後）

まず、自分の身を守る  
家族の安全確認  
ガス等の火を消す・元栓締める  
電気スイッチ、ブレーカー確認

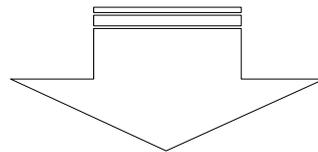
\* 参考：地震直後の心得 10 か条



## 一次集合場所へ （近所の安否確認）

一次集合場所へ集まる  
各世帯の安否確認  
安全確認シートの作成  
災害弱者（世帯）の安否確認

\* 参考：避難 10 箇条・日上2防災マップ・安全確認シート

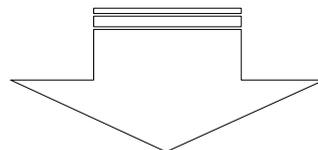


## 消火・救助 （近所の初期消化 や救助対応）

付近の出火確認と初期消火  
付近の被災者の救助対応

- ・ 付近の事業所との連携
- ・ 自治会長等への連絡

\* 参考：災害時協力事業所資機材器材一覧

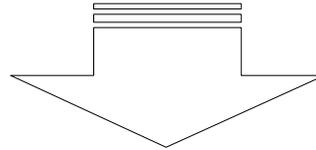


「日上2災害対策本部」の設置

「日吉津上2災害対策本部」の設置

- ・本部体制、人員の配置
- ・被害状況の集約
- ・村対策本部（役場）との連携

\*参考：日上2災害対策本部組織図



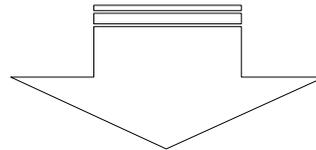
救助・避難誘導

救助活動

避難誘導

被災者受入体制

- ・事業所等からの機器調達
- ・その他、必要備品・物資の調達



避難所の設置

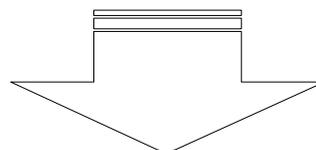
上2公民館に避難所開設

- ・必要機器・物資の調達

村本部（役場等）との連絡体制の確立

地区住民への情報伝達の強化

ボランティア受け入れ体制の確立



避難生活の援助

被災者及び住民への支援体制の確立

- ・心のケア等の対応
- ・日常生活への相談・支援対応
- ・その他避難生活等の長期化対応

## 地震直後の心得 10か条

### ① わが身と家族の安全を守る

大きな地震の揺れは、1分以上。丈夫なテーブルや机の下に身を隠し、頭を保護するようにする。



### ② 火が出たら、まずは消火

小さな火でも、大きな災害を生む。小さな地震でも火を消す習慣をつけておく。

### ⑥ 大型店では係員の指示に従う

大勢の人が集まるところでの災害はパニックを引き起こしがち。勝手に判断せず係員の指示に従い冷静に行動する。

### ⑦ がけ崩れ、津波に注意

がけ崩れが発生しそうな地域や海岸では、すばやく避難すること。

### ③ 戸や窓を開けて出口を確保

とくに中高層住宅では、避難のための出口確保が重要。できれば2カ所以上は確保しておく。

### ⑧ 避難は徒歩で、持ち物は最小限に

自動車を使うと、渋滞を引き起こし、消火・救援・救護活動のさまたげに。

### ④ あわてて外に飛び出さない。

むやみに外へ飛び出すのは危険。周囲の状況をよく確かめてから、落ち着いて行動する。

### ⑨ 自動車は「左」によせて停車

カーラジオの情報により行動をとること。停車する時は左に寄せて。規制区間では運転をやめる。



### ⑤ 狭い路地や塀際、がけ、川に近づかない。

屋外では、ブロック塀が倒れたり、窓ガラスや看板などが落ちてくる危険性が。頭を保護し安全な建物か近くの広場へ避難する。

### ⑩ あわてず、騒がず、落ち着いた行動を。

災害時は、デマなどにまどわされやすくなりがち。報道機関や市町村、消防・警察などからの情報に注意する。

## 避難の心得 10か条

### ① 避難の前に安全確認

避難する時は、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉め、ライフライン復旧後の二次災害を防止する。



### ② 外に逃げるときはあわてずに

外に逃げるときは、瓦やガラスなどの落下物に注意し、落ち着いて行動する。

### ③ ヘルメットや防災ずきんで頭を保護

ヘルメットや防災ずきんがなければ、座布団にヒモをつけたものなどで頭を保護し、落下物に注意しながら行動する。



### ④ 荷物は最上限のものに。

非常持ち出し品はリュックサックに入れて背負い、両手が使えるようにする。靴は底の厚い、はきなれたものを。

### ⑤ 外出中の家族には連絡メモを

外出中の家族がいるときは、避難場所をメモして目立つところに貼っておく。



### ⑥ 避難は徒歩で。車、バイクは厳禁

災害時に車で避難すると、かえって避難が遅れる。しかし、車で避難しなければならない場合は、避難勧告前に早めの避難を心がける。

### ⑦ お年寄り、子どもの手はしっかり握る。

災害時要援護者に対する心づかいを。家族が離ればなれにならないように、しっかりと手を握って避難する。

### ⑧ 近所の人と集団で。まず決められた集合場所に

避難は指定された避難場所へ。もし、避難場所以外のところへ避難したら、近所の人に連絡先を知らせる。

### ⑨ せまい道、塀ぎわ、川べりなどは、避けて避難

壁、門柱、自動販売機など倒れやすいものの近くは避ける。がけや川べりなど、崩れ落ちる可能性のある場所は避けて避難。

### ⑩ 協力しあって、救出・救護。

高齢者や身体の不自由な人、けが人などに声をかけ、みんなで助け合う。初期消火などもみんなが協力して行なう。

## ライフラインの確保

### 電気

**影響** 台風や地震などで停電することがあります。停電すると照明や電気器具が使えなくなり、テレビやパソコンなどで災害の情報などを得ることも出来なくなります。また、エレベーターが停止したり、ポンプが作動しないため水道が使えないなどの影響も考えられます。

#### 【地震が起きたら】

スイッチを切り、プラグを抜きましょう。電気ストーブやアイロンなど熱器具は火災の原因になりやすいので、すぐにスイッチを切ってコンセントからプラグを抜きましょう。

#### 【避難するときは】

ブレーカーを切りましょう

電気の消し忘れによる事故・火災を防ぐために、分電盤のブレーカーを切りましょう。日頃からブレーカーの位置を家族で確認しておきましょう。

### 水道

**影響** 飲み水だけでなく、断水すると、火災発生の際の消火活動や応急手当などにも支障をきたします。水道管は破裂すると水洗トイレが使えなくなるなど様々な影響があります。

#### 【災害が起きたら】



#### □注意すること

災害がおさまったら、まず、ポリタンク、風呂桶などに水をためましょう。ただし、水道管が破裂していればすぐに断水してしまうので、平素から水をためておくことが必要です。

#### □備えておくもの

飲料水3日分（目安として一人1日3リットル）×家族の人数分

\*車の中や物置など何ヶ所に分けて保管。生活用水（お風呂は次に入るまで抜かないようにしておきましょう。）

#### □飲料水の備蓄方法

ポリ容器などに水道水を汲み置きするときには、次のことに注意してください。

1. 密閉性のよい容器を選び、中をよく洗浄します。
2. 容器に空気が残らないように水道水を詰め、しっかり密閉します。
3. 冷暗所で保管します。
4. 保存した水は、4日(夏季)～10日(冬季)程度を目安に洗濯や掃除に利用するなどして交換してください。ただし、浄水器を通した水を保存している場合は、塩素による消毒効果がないため毎日交換してく

ガス

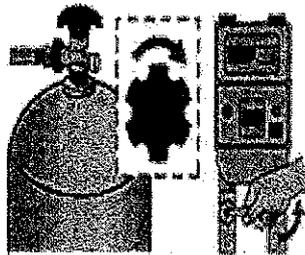
LPガス設備が地震時に受ける被害の多くは、容器が転倒又は大きな荷重が容器周辺に加わり、これらの機器又は配管が破損することです。

【地震が起きたら】

- ガス栓を閉め、火は全て消し、LPガスの容器バルブを閉めましょう
- LPガス容器の転倒防止対策を講じましょう。



メーターガス栓、  
自動バルブを閉めましょう

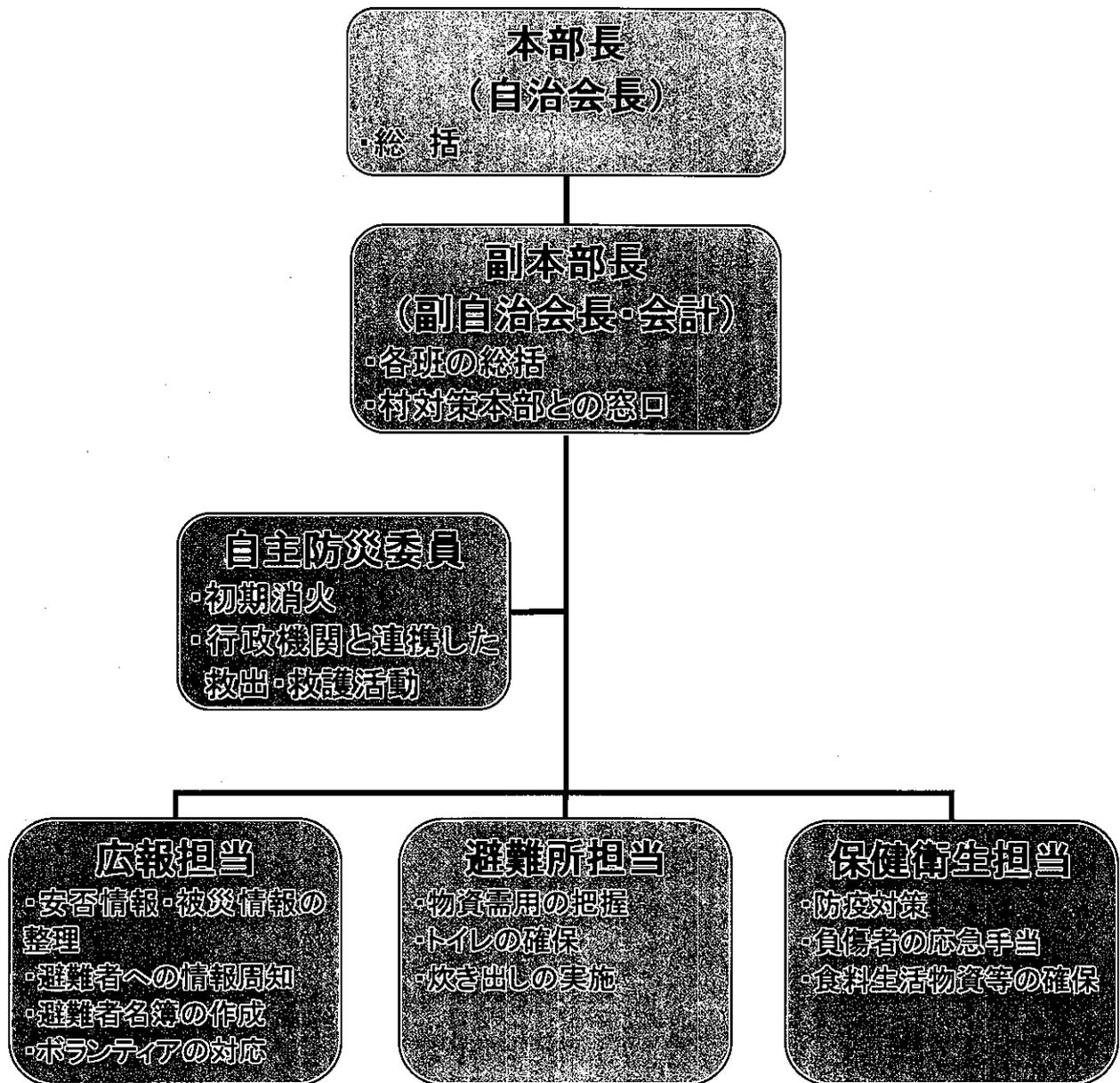


自置の鎖・鎖止め金具等が  
きちんと掛かっているか  
確認しましょう

鎖、鎖止め金具等でしっかり固定  
されているかを確認しましょう。



## 日吉津上2災害対策本部組織図



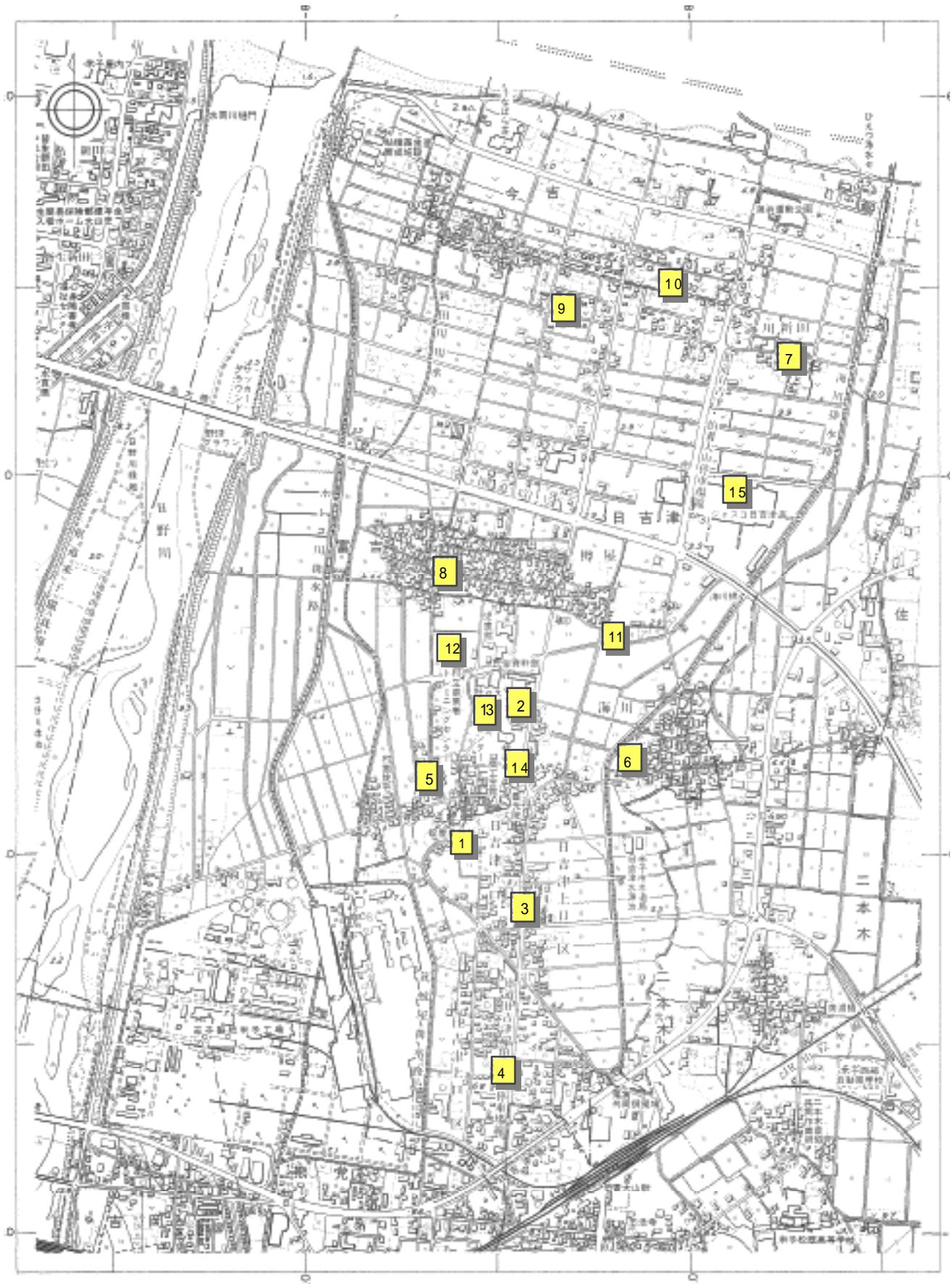
・災害対策本部員は、本部長が災害の状況により、自治会役員、防災委員の中から任命する。

災害時連絡先	
日吉津村役場 27-0211	日吉津村社会福祉協議会 27-5351
日吉津駐在所 27-1346	日吉津上2公民館(災害時)27-4241

## 各担当の役割 (仕事の手順)

	仕事内容・手順	関連事項
広報担当	①安全確認シートにより被害情報の把握  村の災害対策本部への被害状況報告  避難者名簿の整理、安否情報の整理	村対策本部との連携 避難者名簿、安否情報の更新
	②ボランティアの受入、必要性の把握  村、ボランティアセンターへの要員派遣要請  ボランティアへの現場案内	ボランティアセンターとの連携 ボランティアの食事、宿泊の確保
避難所担当	①食器、炊き出し備品の把握  避難者数等により必要な物資需要の把握  村、ボランティアセンターへの要員派遣要請  炊き出しの実施	備品の確認 掲示板を通じて情報の共有化 ペットへの対応
	②仮設トイレの確保  仮設トイレの設置	仮設トイレの場所の選定、確保
	③避難所の運営方法を決定する。(考える)	
保健衛生担当	①負傷者の応急手当  負傷者の搬送(村救護所又は医療機関)	村の保健師、医療機関の連携  輸送手段の確保
	②食料物資等の必要量把握(日上2全体)  村災害対策本部への要員、物資の要請  食料、物資の配布	
	③災害時におけるねずみ、昆虫などの対策のため村、保健委員、ボランティアと連携し罹災家屋や便所の消毒を行う。	保健委員、村、ボランティアとの連携 要員、器材の確保
自主防災委員	①初期消火 ②救出・救護 ③避難、誘導 ④借用資機材の管理 ⑤防犯巡回	消防団との連携 (平素の仕事)防災倉庫・器具の点検 消火栓等防火施設の点検 防災訓練の実施  事業所との連携

# 日吉津村避難場所一覽



No.	対象地区	災害対応種別				施設名等	所在地	収容人員 (人)	備考
		地震	津波	風水害	一般災害				
						日吉津村			
①	日吉津上2 日吉津上1 日吉津下口				蚊屋島神社境内	日吉津 380	1500		
②	海川、富吉 今吉、樽屋				日吉津小学校（校庭）	日吉津 872-12	1500		
	海川、富吉 今吉、樽屋				日吉津小学校（校舎）		450		
③	日吉津上1				日吉津上1 公民館	日吉津 473	90		
④	日吉津上2				日吉津上2 公民館	日吉津 63	60		
⑤	日吉津下口				日吉津下口公民館	富吉 56-2	60		
⑥	海川				海川公民館	日吉津 785-1	60		
⑦	海川				海川新田公民館	日吉津 1695-4	40		
⑧	富吉				富吉公民館	富吉 1034	70		
⑨	今吉				今吉公民館	日吉津 1756-9	50		
⑩	今吉				今吉東集会所	今吉 63-13	35		
⑪	樽屋				樽屋公民館	日吉津 992-1	45		
⑫	日吉津上2 日吉津上1 日吉津下口				日吉津村農業者トレーニングセンター	日吉津 936	500		
⑬	全 村				日吉津村社会福祉センター	日吉津 973-9	500		
⑭	全 村				日吉津村役場	日吉津 872-15	40		
⑮	全 村				ジャスコショッピングセンター日吉津店	日吉津 1160-1	3000		



災害時の協力事業所資機材別一覧

番号	事業所名	住 所	電話番号	ジャッキ	チェーンソー	発電機	投光器	ハシゴ	車輛	その他機材
1	長谷川電気	日吉津 5 4 2 - 2	27 - 0110							
2	大協組	米子市蚊屋 2 3 5 - 2	27 - 3237							テント、セーフティカラーコーン、エンジン
3	ジョモネット山陰	日吉津 5 - 1	27 - 0653							仮設トイレ
4	北斗興業	日吉津 4 - 1	27 - 3535							
5	ホネスティ	日吉津 2 - 7	27 - 2634							溶接機、グラインダー
6	吉田工業	日吉津 2 - 7	27 - 3444							
7	日成工業	日吉津 7 1	27 - 2712							スコップ
8	山陰マシンサービス	日吉津 8 7 - 2	27 - 1449							
9	シオティク	日吉津 2 5 - 1	27 - 3683							
10	光葉工業	日吉津 7 0	27 - 1321							トラクター、鉄板、エンジンカッター、ユニック、バックホー、給水タンク
11	本高建設	日吉津 6 7	27 - 0617							給水タンク
12	米子デンソー	日吉津 5 8 - 1	39 - 3680							
13	森田工産	日吉津 1 0 1 - 3	27 - 3838							ユニック
14	中国ニチュ	日吉津 1 9 4 - 2	27 - 3001							フォークリフト
15	太平自動車	日吉津 1 0 7	27 - 2627							
16	日吉津土建	日吉津 1 9 9 - 1	27 - 0956							
17	ステンレス工機	日吉津 2 1 2	27 - 3288							
18	日伸建鉄	日吉津 5 0 - 3	27 - 1802							
19	安達住建	日吉津 1 9 4 - 1	27 - 2787							水中ポンプ、バール、仮設トイレ、仮設風呂
20	タイヨー通信	日吉津 4 5 - 3	27 - 1211							スコップ、バール
21	増本自動車	日吉津 3 5 - 1	27 - 3470							
22	尚建工務店	日吉津 3 1 - 5	27 - 4093							
23	ビッグツール	日吉津 7 5 - 2	27 - 1231							
24	朝日鉄工	日吉津 5 0	27 - 0257							水中ポンプ、バール
25	ダイワ鋼商	日吉津 1 9 4 - 9	27 - 5019							ユンボ
26	ガレージハスクバーナ	日吉津	27 - 5017							
27	佐々木工務店	日吉津 9 8 - 1	27 - 3131							トランシーバー、チェーンブロック
28	大同組	日吉津 9 4 - 1	27 - 0557							水中ポンプ、チェーンブロック
29	日通米子運輸	日吉津 8 0	27 - 0511							

## 日 上 2 防 災 倉 庫 備 品 一 覧

品 名	規 格	数 量	備 考
二つ折り担架	2100×540	1	宝くじ
組み立てリヤカー	アルミ製2166×1196 ×802	1	宝くじ
メガホン	防滴型	1	宝くじ
投光器	ハロゲン300ワット	1	宝くじ
コードリール	3心全天候型	1	宝くじ
三脚	スチール製	1	宝くじ
水中ポンプ	口径50mm	1	宝くじ
ホース	1本20メートル	2	宝くじ
カナテコ	直径25×1200	3	宝くじ
平バール	900mm	2	宝くじ
ツルハシ	両ツル柄付	5	宝くじ
発電機	680×455×555	1	宝くじ
テント		1	自治会
脚立		1	自治会
シート		3	自治会
コードリール		2	自治会
スコップ		2	自治会
ガソリン容器	3リットル	1	自治会
ポリバケツ		3	自治会
ござ		4	自治会
じゅうたん		1	自治会

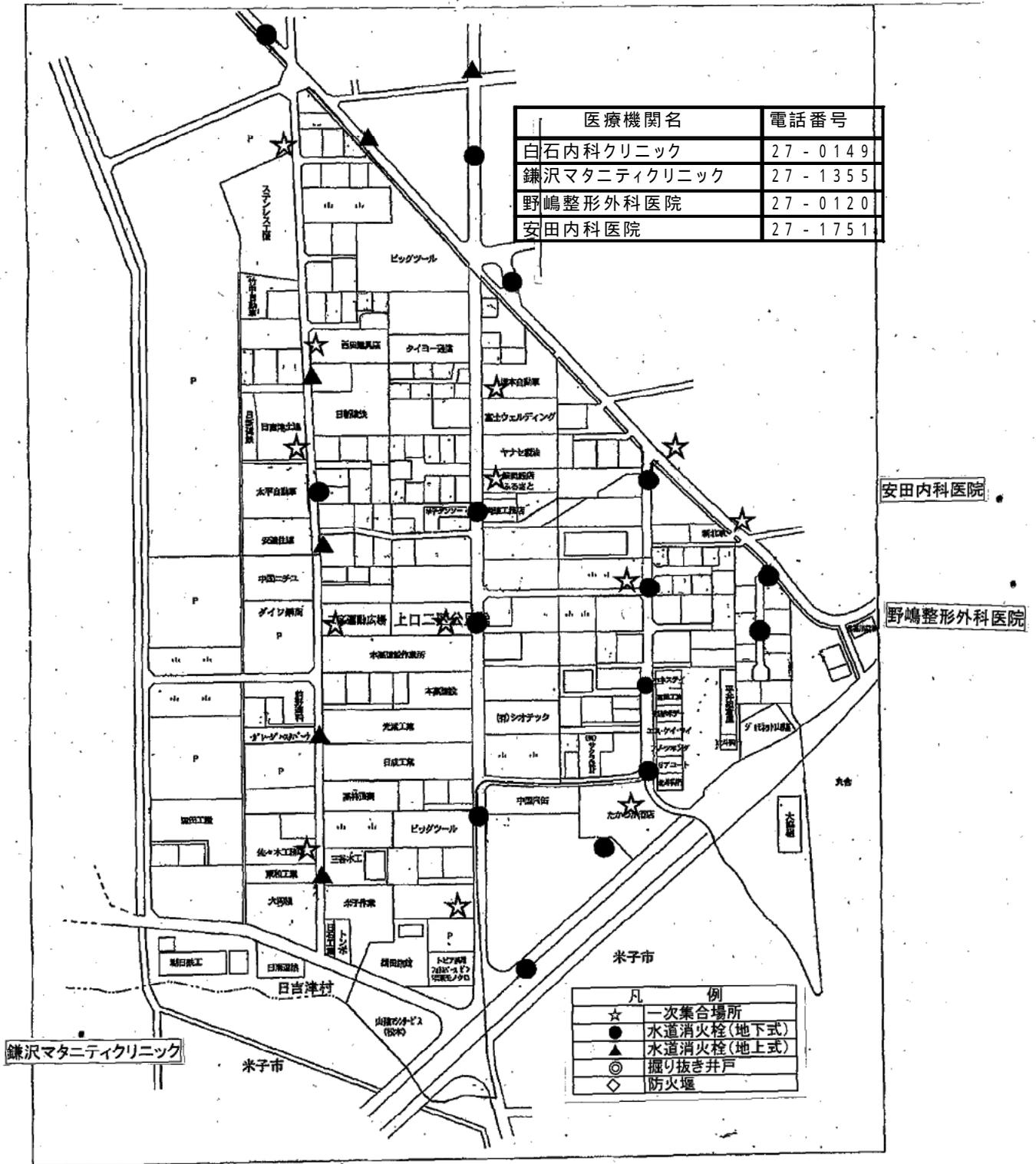
防災倉庫鍵の保管先

日上2公民館・日上2自治会長宅・自主防災委員長宅・役場総務課防災係

防災倉庫は宝くじ助成事業により建設しました。

# 日上2防災マップ

(☆は災害発生時の安否確認のための一次集合場所です。)



医療機関名	電話番号
白石内科クリニック	27 - 0149
鎌沢マタニティクリニック	27 - 1355
野嶋整形外科医院	27 - 0120
安田内科医院	27 - 1751

安田内科医院

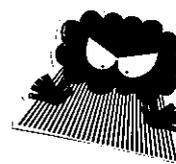
野嶋整形外科医院

鎌沢マタニティクリニック

凡 例	
☆	一次集合場所
●	水道消火栓(地下式)
▲	水道消火栓(地上式)
◎	掘り抜き井戸
◇	防火堰

# 台風のお話

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼び、このうち北西太平洋で発生して中心付近の最大風速がおよそ毎秒17m（風力8）以上になったものを「台風」と呼びます。



## ■ 台風の進路

台風の現在地と暴風域及び強風域、72時間先までの台風の中心到達予想範囲が12時間、24時間毎に示されます。

- 暴風域／平均風速で毎秒25m以上の暴風が吹いていると考えられる範囲。
- 強風域／平均風速で毎秒15mの強い風が吹いていると考えられる範囲。
- 予報円／台風の中心が到達すると予想される範囲（この円内に台風の中心が入る確立は70%です。）

## ■ 台風の日

衛星画像などで台風を上空から見ると、中心に穴があいたようにぽっかりと雲がないことがあります。これを台風の日といいます。その大きさは、直径40Kmから50Kmにもなることがあります。台風の日の中までは、風雨が弱くて、晴れ間さえ見える場合もありますが、しばらくすると、再び嵐が戻ってくるので油断は禁物です。

## ■ 風の強さと吹き方

「やや強い風」風速毎秒10～15m（時速約50Km）風に向かって歩きにくい。樹木全体は揺れる。取り付け不完全な看板やトタン板が外れて飛ばされる。

「強い風」風速毎秒15～20m（時速約70Km）風に向かって歩けない。転倒する人が出る。ビニールハウスが壊れる。

## ■ 台風の規模

台風の勢力は「大きさ」と「強さ」で紹介されます。

- 大きさ／風速毎秒15m以上の強風が吹いている範囲の半径
- 強さ／最大風速。

### <大きさの階級>

階級	風速毎秒15m以上の半径
大型（大きい）	500Km以上～800Km未満
超大型（非常に大きい）	800Km以上

### <強さの階級>

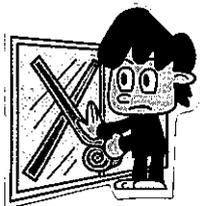
階級	最大風速
強い	毎秒33Km～44Km未満
非常に強い	毎秒44Km～54Km未満
猛烈な	毎秒54m以上

「非常に強い風」風速毎秒20～30m（時速100Km）しっかり身体を確保しないと転ぶ。車の運転を続けるのは危険。飛散物でガラスが割れる。樹木が根こそぎ倒れる。

「猛烈な風」風速毎秒30m以上（時速約110km）屋根がとばされたり、木造住宅が壊れる。

**台風対策1** Q「風が強いとき」

**屋内では？**



窓ガラスの飛散を防ぐために窓ガラスにテープを貼っておく。外からの飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドは降ろしておく。外出は控えること。

**路上では？**



看板が飛んだり、街路樹が倒れたりする危険があるので、近くの建物の中に避難する。ただし、大雨を伴う場合には、地下室や地下街には逃げ込まないように。

**海辺では？**



海への転落や高波、高潮に巻き込まれる危険があるので、すぐに高台に避難する。強風や豪雨のときにはサイレンなどの警告が聞こえないこともあるので、十分に注意を。

**台風対策2** Q「風水害の備え」

台風は、襲来時期や規模をある程度予測することが出来ます。日頃から天気予報を気にかかけ、注意が必要な時にはテレビやラジオ、インターネットで最新の情報を収集するようにしましょう。



**■注意報・警報とは？**

\* 注意報は何か災害が起こる恐れのある時に発表されます。警報は「重大な」災害の起こる恐れのある時に発表されます。

気象庁のホームページ

▶▶▶ <http://www.jma.go.jp/jma/>

最新エリアの別情報が入手できます。

鳥取地方気象台▶▶▶<http://www.osaka-jma.go.jp/tottori>

松江地方気象台▶▶▶<http://www.osaka-jma.go.jp/matue>

## 集中豪雨のお話

集中豪雨とは、狭い地域に大量の雨が降り、夕立の時のような激しい雨が、何時間も続くことが特徴です。発生の予測が難しく、急激に状況が変化するため、少しでも異常や危険を感じたら、すぐに避難するようにしましょう。



### ■発生のメカニズム

豪雨が起りやすいのは、梅雨時など前線が停滞しているときや、台風が接近または上陸したときなどです。南から暖かく湿った空気が入り、大気が不安定なときに発生しやすいといわれています。

### < 1 時間の雨量 >

1 時間の雨量	予報用語	雨の降り方	災害発生状況
10～20 ミリ	やや強い雨	ザーザーと降り、雨音で話し声がよく聞こえない。	地面からの跳ね返りで足下が濡れる。長く降り続くときは注意が必要。
20～30 ミリ	強い雨	どしゃ降り。傘をさしていても濡れる。車のワイパーを早くしても見づらい。	側溝や下水があふれる。
30～50 ミリ	激しい雨	バケツをひっくり返したように降り、道路が川のようになる。	がけ崩れが置きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水道から雨水があふれる。
50～80 ミリ	非常に激しい雨	滝のように降り、辺り一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。車の運転は危険。	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。下水道から水が噴出する。土石流が起りやすくなる。
80ミリ以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。	雨による大規模な災害発生の危険があり、厳重な警戒が必要。

## ■避難の注意点

### 1、動きやすく安全な服装で

長靴は水が入ると歩きにくいので、ヒモでしっかり結べる運動靴で。はだしは厳禁。

### 2、深さと流れに注意

歩行可能な水深は、流れの遅い場合でも一般的に50cm程度。流れの遅い場合でもひざまで水深があるようなら、無理に避難せずに高所で救援を待つ。

### 3、隣近所で声を掛け合い、集団避難

単独行動はしない。はぐれないようお互いの身体をロープで結ぶ。

### 4、災害時要援護者の安全を確保

高齢者や傷病者はしっかり手を引くか、背中に背負い、子どもには浮き輪をつけさせる。

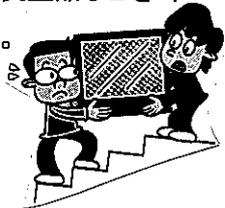
### 5、足元に注意

水面下ではマンホールや側溝などの危険が。長い棒をつえ代わりに突き、安全を確保しながら歩く。

## 集中豪雨対策 Q 「大雨のとき」

### 屋内では？

床下・床上浸水の危険が。要援護者は2階などへ避難する。また、家具や貴重品などを2階へ移動させる。



### 車の運転中は？

豪雨で視界が悪く。操作ができなくなる危険も。水が少ない場所を選びながら、ゆっくりと高台へ避難する。冠水した道路ではマンホールのフタが浮いたり、はずれたりしている場合があるので十分に注意。

### 河原では？

急な増水や土砂災害の危険があるので、川などには近づかず、すぐに避難する。そこで雨が降っていないくても、サイレンなどの警報が聞こえたらすぐに逃げる。

## 災害後の安全点検

- ・落下物や倒壊した危険物はないか。あればただちに、補強や点検を行なう。
- ・水害を受けたら衛生に注意。
- ・断線した電線が家屋などに接触していないか（触れずに、すぐ電力会社に連絡する。）
- ・浸水の被害にあったら消毒を念入りに。
- ・家の中は風通しを良くして乾燥させる。
- ・活動時にはケガをしないように、肌を露出しない服装で。

## ◇避難に関する情報を正しく理解しましょう。

災害の危険がある場合、必要と認められる地域の居住者、滞在者などに村長から避難のための「情報」「勧告」「指示」が発表されます。

### ●避難準備（要援護者避難）情報

要援護者等、特に避難行動に時間を要する者は、避難場所への避難行動を開始（避難支援者は支援行動を開始）する。これ以外の者は、家族等との連絡や非常用持出し品の用意等、避難準備を開始する。

### ●避難勧告

避難対象地域内の全ての住民は、

計画された避難場所等への避難行動を開始する。

### ●避難指示

避難中の住民は、避難を直ちに完了する。まだ避難していない住民は、直ちに避難行動に移る。もし、避難する余裕がなければ、建物の高所に移るなど生命を守る最大限の行動をとる。

## ◇災害時要援護者を災害から守りましょう。

突然の災害に見舞われたとき、大きな被害を受けやすいのは、高齢者や子ども、障害者、傷病者、外国人など、何らかの手助けが必要な人（災害時要援護者）です。

災害時要援護者を災害から守るために、地域で協力しあいながら支援していきましょう。



### ●日頃から災害時要援護者との交流を密に一

日常的にあいさつを交し合う。災害時に何をして欲しいかなどを聞いておく。

### ●災害時要援護者の身になって生活環境を点検一

避難路は車イスで通れるか、標識は外国人でもわかるか、目の不自由な人にとって障害物がないかなど、確認する。

### ●災害時要援護者とともに防災訓練を一

地域で協力して、災害時要援護者参加型の防災訓練を行なう。その際、一人の災害時要援護者に対して、複数の住民で支援するなど、地域で具体的な救援体制を決めておく。

### ●困ったときこそ、温かい気持ちで。

災害時の混乱や被害が大きいほど、困っている人に温かい思いやりをもって接するようにしましょう。

## 災害時の要援護者を誘導するポイント

### 【目の不自由な人】

- ・ つえを持つ手と反対側のひじのあたりに軽く触れ、ゆっくり歩く。
- ・ 進むべき方向は「○時の方向です」と時計の針で表現するのもよい。

### 【耳が不自由な人】

- ・ 口を大きく動かし、はっきりと話す。
- ・ 身振りや筆談などで正確な情報を伝える。

### 【車イスを利用している人】

- ・ 階段は3人以上で援助を。上りは前向き、下りは後ろ向きで移動する。

### 【外国人】

- ・ 身振り手振りで話しかけ、情報が理解できるようにして、孤立させないように心がける。

## 国民保護編

## 警報が発令されたら

村民の皆さんの安全を守るため、武力攻撃やテロなどが迫り、または発生した地域には、市町村から原則として防災行政無線のサイレンを使用して皆さんに注意が呼びかけられることになっています。

そして、テレビ、ラジオなどの放送や消防の広報車両などを通して、どのようなことが、どこで発生した、あるいは発生する恐れがあるのか、皆さんにどのような行動をとって欲しいの

か、といった警報の内容が伝えられます。

また、住民の避難が必要な地域には、同様な方法で避難が呼びかけられます。



## 避難の仕組み

- 国は、武力攻撃から国民の生命、身体または財産を保護するため緊急の必要があると認めるときは、警報を発令して、直ちに県知事に通知します。
- さらに、住民の避難が必要なときは、県知事に対して、住民の避難措置を講ずるよう指示します。
- これを受け、県知事は、警報の通知や避難の指示を行いません。そして、放送や市町村の防災行政無線を通じて、皆さんに情報が伝達されます。

## 避難の指示が出されたら

- 行政機関からの指示としては、屋内への避難、近隣の避難所施設への避難、市町村や県の区域を越えた遠方への避難などが考えられます。皆さんの安全を守るため、状況に応じて適切な指示が出されます。
- 行政機関から避難の指示が出された場合は、指示に従って落ち着いて行動しましょう。

### [自宅から避難する場合の留意点]

- 元栓をしめ、コンセントを抜いておきましょう。冷蔵庫のコンセントはさしたままにしておきましょう。
- 頑丈な靴、長ズボン、長袖シャツ、帽子などを着用し、非常持出品を持参しましょう。
- パスポートや運転免許証など、身分を証明できるものを携行しましょう。
- 家の戸締りをしましょう。
- 近所の人に声をかけましょう。
- 避難の経路や手段について、行政機関からの指示にしたがい適切に避難しましょう

## 家庭でできる平素の対策

いつ起こるか解らない災害。重要なのは平素からの「備え」です。自分の安全確保が、他人を助けることにもつながります。突然の災害を「まさか」から「もしも」に！

### 【家の中の安全対策】

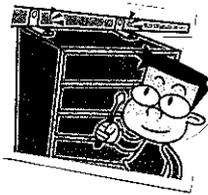
#### ● 家具を安全に配置する。

寝る部屋に家具を置く場合は、体の上に倒れてこないように配置し、できるだけ人の出入りが少ない部屋に家具をまとめましょう。



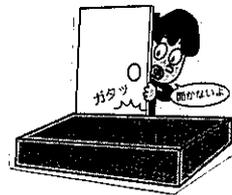
#### ● 家具の転倒や落下防止を。

家具と壁や柱の間に空間を作らない。またL字型金具や重ね留め用金具、家具の転倒防止シートなどを利用して転倒や落下を防ぎます。



#### ● 通路や出入口に荷物置かない。

いざというときの避難路を確保するために、通路や出入口にはできるだけ荷物を置かないようにしましょう。



#### ● 窓ガラスに飛散防止フィルム。

窓はもちろん、食器棚や額縁などに使われているガラスにも忘れず飛散防止フィルムを貼りましょう。



### 【家の外の安全対策】

屋根瓦にひび割れ、ずれ、はがれがあれば補強する。アンテナはしっかり固定する。



ベランダは常に整理整頓を。植木鉢は落下しないよう低い位置に置く。

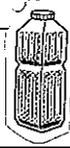
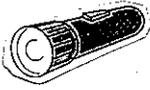
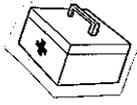
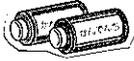
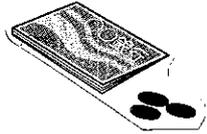
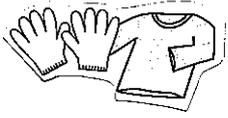
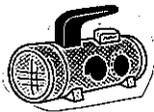
鎖でしっかりと固定しておく。

ひび割れや傾きがあれば修理する。土中にしっかりと基礎部分がないものや、鉄筋が入っていないものは補強する。

**非常持出品、備蓄品を準備しましょう。**

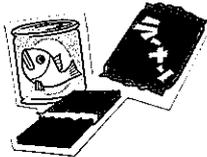
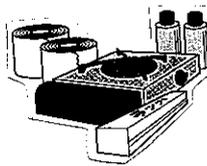
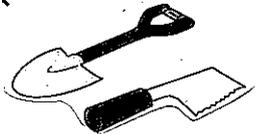
**非常持出品**

避難する時に持ち出す最小限の必需品です。  
すぐに取り出せるところに保管しておきましょう。

<p>ヘルメット・防災ずきん 必ず家族の人数分用意 すること。</p>		<p>水 持ち運びに便利なペット ボトル入りを。</p>	
<p>懐中電灯 できれば、一人にひとつづつ 用意したい。</p>		<p>救急医薬品・常備薬 キズ薬、ばんそうこう、 解熱剤、かぜ薬、胃腸薬 など。常備薬があれば忘れずに。</p>	
<p>予備電池 意外に忘れがちなもの。 懐中電灯、携帯ラジオ用に、 少し多めに用意しておく安心。</p>		<p>貴重品 預金通帳、健康保険証、免許証 など。現金は紙幣だけでなく、 公衆電話用の10円硬貨も。</p>	
<p>非常食 乾パンやアルファ化米 など、火を通さずに食 べられるものを。</p>		<p>生活用品 衣類、軍手、ナイフ、ライ ター、缶きり、簡易トイレ、 生理用品など。</p>	
<p>ラジオ 携帯電話の充電ができる 手回し発電ラジオや、乾 電池のいらぬ懐中電灯 付ラジオなど、非常時に 1台あると役立ちます。</p>		<p>携帯電話と充電器 災害時に携帯電話は欠かせ ません。充電器があると便 利です。</p>	

**非常備蓄品**

災害復旧までの数日間を生き延びるためのものです。

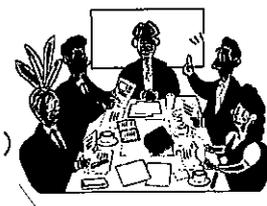
<p>非常食 そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの を。アルファ化米やレトルトのご飯、 おかず、缶詰やインスタントラ ーメン、チョコレートなど。しょう油 や味噌などの調味料も準備し ておく便利。</p>		<p>水 飲料水と生活用水を用意する。飲料水は、1人1日3リット ルが目安。生活用水はプラスチックのタンクなどに入れて 保存しておく。また風呂の水 を次に入れるまで残しておく習慣 をつけると、いざというときに生 活用水として利用できる。</p>	
<p>生活用品 カセットコンロと予備のガスボンベ、 毛布、衣類、トイレトペーパー、ド ライシャンプー、ビニール袋、キッ チン用ラップ、生活用品など</p>		<p>工具類 家屋が倒壊した場合などに備えて、 救出活動に使えるスコップやパー ル、のこぎり、車のジャッキなどを 用意しておく。</p>	

\*家族構成に合わせた準備を マニュアルどおりにそろえるだけでは足りません。家族の人数、家族  
構成から、必要なものを考えてみましょう。乳幼児・妊婦・要介護者のいる家庭では、それぞれ工夫を。



[日吉津上2住民避難マニュアルの作成経過]

- \* 平成16年8月10日 上2コミュニティ計画推進委員会を設置。  
(後に「上2見守りコミュニティ推進委員会」と命名)
- \* 平成17年2月27日 自主防災組織委員会(建部智功委員長)を設置。



<平成18~19年度>

期 日	会 合 等	主 な 内 容
5月29日	自治会役員会	事前協議を経て、「マニュアル」への取組みを決定。
6月11日	第1回委員会	マニュアルづくりについて役場総務課より概略の説明を受けて、話し合い。
6月25日	第2回委員会	地震対策・直後からの対応について、意見を出し合う。
7月 2日	第3回委員会	直後の対応について、さらに意見を出し合う。
7月16日	第4回委員会	さらに、「地震から2~3日後の対応」など意見追加。
7月30日	第5回委員会	マニュアルづくりと地震直後の集合場所など話し合い。
7月17日	アドバイザー受入れ	まちの縁側育くみ隊・延藤安弘先生からアドバイスを受ける。 (地域づくりアドバイザー事業の一環として)
8月 6日	第6回委員会	第1次集合場所、災害対策本部の設置などについて。
8月29日	アドバイザー受入れ	延藤安弘先生より、屋の委員会及び夜の幻燈会にて、コミュニティ組織の重要性や阪神大震災の事例など紹介いただく。 (マップや井戸の大切さもアドバイスいただく)
9月 3日	第7回委員会	井戸や事業所の防災施設、アパート対策、災害対策本部の設置、公民館の整備など話し合う。
9月10日	第8回委員会	事業所との連携、対策本部の役割分担など話し合う。
9月24日	第9回委員会	検討協議
10月 8日	自主防災委員会	避難マニュアルの概要・経過について確認し話し合う。
10月15日	第10回委員会	マニュアル素案検討。
10月24日	事業所との打ち合わせ会	8事業所出席のもと、機器備品の貸し出しなど、災害時の協力について要請。協力的な反応をいただく。
10月29日	第11回委員会	マニュアルについて検討協議
11月 8日	第12回委員会	コミュニティ助成(自主防災組織)等協議
11月16日	第13回委員会	事業所への資器材提供アンケート(20日回収)など
12月 3日	第14回委員会	マニュアルについて検討協議
12月17日	第15回委員会	マニュアル検討協議、総会への提案説明等について
12月27日	第16回委員会	マニュアルについて検討協議
平成19年 1月17日	第17回委員会	マニュアルについて検討協議 //
2月 4日	むらづくり交流集会	マニュアルづくり等について報告
2月6日~13日	村行政懇談会	各地の懇談会に出席し、マニュアルづくりを報告。
4月17日		コミュニティ助成金(自主防災組織育成)交付決定
6月		防災倉庫設置(備品購入・装備~10月)
11月15日	検討会	マニュアルについて検討協議
11月28日	検討会	マニュアルについて検討協議
12月13日	検討会	マニュアルについて検討協議
12月16日	自主防災委員会	防災倉庫点検・マニュアル検討
12月20日	検討会	マニュアルについて最終検討

# 様式集

日上2自治会安全確認シート  
災害人材台帳  
避難者名簿

日上2自治会 安全確認シート (災害直後の安全確認)

確認者: 氏名

時刻: 月 日 時 分

No	氏名 (世帯人数)	緊急時 連絡先	家族状況	家屋状況		家周りの状況	当面の対応
				倒壊等	電気等(○ ×をつける)		
例	上口二郎 (5人)	*参照	二郎米子勤務、和男、 義男通学中。(確認 済)。花子、明子在宅、 無事。(花子は歩行が不 自由)	①問題無し 2一部損壊 3全壊	○1電気 ○2水道 ○3ガス	ブロック塀の倒壊の 危険あり。液状化の 影響か、家の前の 電柱が傾いている。	○1自宅待機 2避難 (避難先 )
1				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道 3ガス		1自宅待機 2避難 (避難先 )
2				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道 3ガス		1自宅待機 2避難 (避難先 )
3				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道 3ガス		1自宅待機 2避難 (避難先 )
4				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道 3ガス		1自宅待機 2避難 (避難先 )
5				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道 3ガス		1自宅待機 2避難 (避難先 )
6				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道 3ガス		1自宅待機 2避難 (避難先 )
7				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道 3ガス		1自宅待機 2避難 (避難先 )
8				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道 3ガス		1自宅待機 2避難 (避難先 )
9				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道 3ガス		1自宅待機 2避難 (避難先 )
10				1問題無し 2一部損壊 3全壊	1電気 2水道 3ガス		1自宅待機 2避難 (避難先 )

\* 緊急時連絡先: 1人暮らしのお年寄などで、村外の親族等に連絡すべき先があれば電話番号等記入する。

# 災害時人材台帳

(災害時に有資格者を把握し使用するものです。)

資格・技能等	△▽がな	住 所	職 業	連絡先・方法 (電話番号)		備 考
	氏 名					
				昼間		
				夜間休日		
				昼間		
				夜間休日		
				昼間		
				夜間休日		
				昼間		
				夜間休日		
				昼間		
				夜間休日		
				昼間		
				夜間休日		
				昼間		
				夜間休日		
				昼間		
				夜間休日		
				昼間		
				夜間休日		
				昼間		
				夜間休日		

○資格・技能等の例…元消防団員、保健・助産・看護師、元警察官・自衛官、整体・整骨師、栄養・調理師、救急・水難救助資格者、アマチュア無線有資格者、など

※この台帳はプライバシーの保護に配慮して自治会長、自主防災委員長が責任を持って保管する。

# 避難者名簿

( 月 日 時現在)

避難所名 日上2公民館		開設期間			平成 年 月 日 時から		
					平成 年 月 日 時まで		
番号	住 所	氏 名	年齢	性別	収容日時	退所日時	備 考
			歳	男・女	時 分	時 分	
			歳	男・女	時 分	時 分	
			歳	男・女	時 分	時 分	
			歳	男・女	時 分	時 分	
			歳	男・女	時 分	時 分	
			歳	男・女	時 分	時 分	
			歳	男・女	時 分	時 分	
			歳	男・女	時 分	時 分	
			歳	男・女	時 分	時 分	
			歳	男・女	時 分	時 分	
			歳	男・女	時 分	時 分	

※ この名簿は、日上2公民館に避難所を開設した場合の名簿で、日上2災害対策本部の広報担当が作成する。

## 策定委員名簿

日吉津上2自治会 会長 湯原喜好  
見守りコミュニティ推進委員会代表 小川 弘  
自主防災組織委員会委員長 建部智功  
福間洋一・棚田正人・藤原宗次・花房認次・  
末吉信太郎・入江 進・藤沢幹範・佐々木茂・  
権田秀敏・稲迫幸治・藤岡 稔・中村公二  
見守り対策委員会 狩野英美子・福間佳哉子・狩野光雄・浅津俊子・  
亀尾あけみ・戸鳴 翠  
その他メンバー 亀尾 栄・元次長寿  
<協力> 日吉津村役場（総務課・地域振興課）  
日吉津村社会福祉協議会  
（参考）「防災ハンドブック保存版」2006  
（鳥取県版・エフエム山陰刊）



保存して家族みんなで読みましょう

編集発行 / 日吉津上2自治会 平成20年1月

公民館所在地 鳥取県西伯郡日吉津村日吉津63

